

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公表番号】特表2013-512918(P2013-512918A)

【公表日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-018

【出願番号】特願2012-542186(P2012-542186)

【国際特許分類】

C 07 K	1/13	(2006.01)
A 61 K	49/00	(2006.01)
A 61 K	51/00	(2006.01)
G 01 T	1/161	(2006.01)
A 61 B	5/055	(2006.01)

【F I】

C 07 K	1/13	
A 61 K	49/00	C
A 61 K	49/02	C
G 01 T	1/161	A
A 61 B	5/05	3 8 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年11月1日(2013.11.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分子を¹⁻⁸Fまたは¹⁻⁹Fによって標識する方法であって、

前記¹⁻⁸Fまたは前記¹⁻⁹Fと第IIIA族金属との錯体をキレート部分に結合させる
ステップを含み、

前記キレート部分が、NODA-MPAAまたはNODA-MPAEMであり、

前記キレート部分が前記分子に結合しているか、または前記キレート部分を前記ステップの後に前記分子に結合させる、方法。

【請求項2】

前記分子が、抗体、モノクローナル抗体、二重特異的抗体、多重特異的抗体、抗体融合タンパク質および抗原結合抗体フラグメントからなる群から選択される標的化分子である
、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記キレート部分が、前記分子に結合している、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記キレート部分を、前記ステップの後に前記分子に結合させるものであり、
前記キレート部分を前記分子に結合させるステップをさらに含む、請求項1に記載の
方法。

【請求項5】

前記第IIIA族金属が、アルミニウム、ガリウム、インジウム、およびタリウムから
なる群から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記第ⅠⅠⅠA族金属が、アルミニウムである、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記¹ ⁸ Fまたは前記¹ ⁹ Fで標識された分子が、前記方法の開始から30分未満で生成される、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記錯体を、水性媒体中で前記キレート部分に結合させる、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

有機溶媒を前記水性媒体に添加して、前記錯体を前記キレート部分に結合させる、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記錯体を、マイクロ波照射によって前記キレート部分に結合させる、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

前記錯体を、加熱によって前記キレート部分に結合させる、請求項1に記載の方法。

【請求項12】

前記キレート部分を、クリックケミストリー反応によって前記分子に結合させる、請求項4に記載の方法。

【請求項13】

前記キレート部分を、マレイミド-スルフヒドリル反応によって前記分子に結合させる、請求項4に記載の方法。

【請求項14】

前記キレート部分が標的化可能な構築物に結合しており、
前記構築物の比放射能が、少なくとも115GBq/ μ molである、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項15】

前記キレート部分が標的化可能な構築物に結合しており、
前記構築物が、放射性標識前に貯蔵のために凍結乾燥される、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項16】

前記構築物が、ソルビトール、マンニトールおよびトレハロースからなる群から選択される充填剤中で凍結乾燥される、請求項15に記載の方法。

【請求項17】

NODA-MPA AまたはNODA-MPA EMを含む組成物。

【請求項18】

前記NODA-MPA Aまたは前記NODA-MPA EMが、分子に結合している、請求項17に記載の組成物。

【請求項19】

前記NODA-MPA Aまたは前記NODA-MPA EMが、金属-¹ ⁸ Fと錯体化されている、請求項17に記載の組成物。

【請求項20】

前記NODA-MPA Aまたは前記NODA-MPA EMが、Al-¹ ⁸ Fと錯体化されている、請求項17に記載の組成物。

【請求項21】

前記NODA-MPA Aまたは前記NODA-MPA EMが、⁶ ⁸ Gaと錯体化されている、請求項17に記載の組成物。

【請求項22】

分子を¹ ⁸ Fまたは¹ ⁹ Fによって標識する方法であって、
a) 水性媒体中で第ⅠⅠⅠA族金属をキレート部分に付着させて、金属-キレート部分錯体を形成するステップであり、前記キレート部分は、前記分子に結合しているか、または該ステップの後に前記分子に結合されるものである、ステップと、

b) 前記¹⁻⁸Fまたは前記¹⁻⁹Fを前記金属-キレート部分錯体に添加し、前記¹⁻⁸Fまたは前記¹⁻⁹Fを前記第IIIA族金属に結合させるステップと、
を含む方法。